

第 4 章 居民意向調查

4-1 アンケート調査概要

これまでの都市づくりに対する評価やこれからの都市づくりの方向性について、住民意向調査を実施しました。

調査の概要は下記のとおりです。

【調査概要】

発送時期：令和元年12月26日

調査期間：令和元年12月27日から令和2年1月24日まで

配布方法：郵送配布、郵送回収

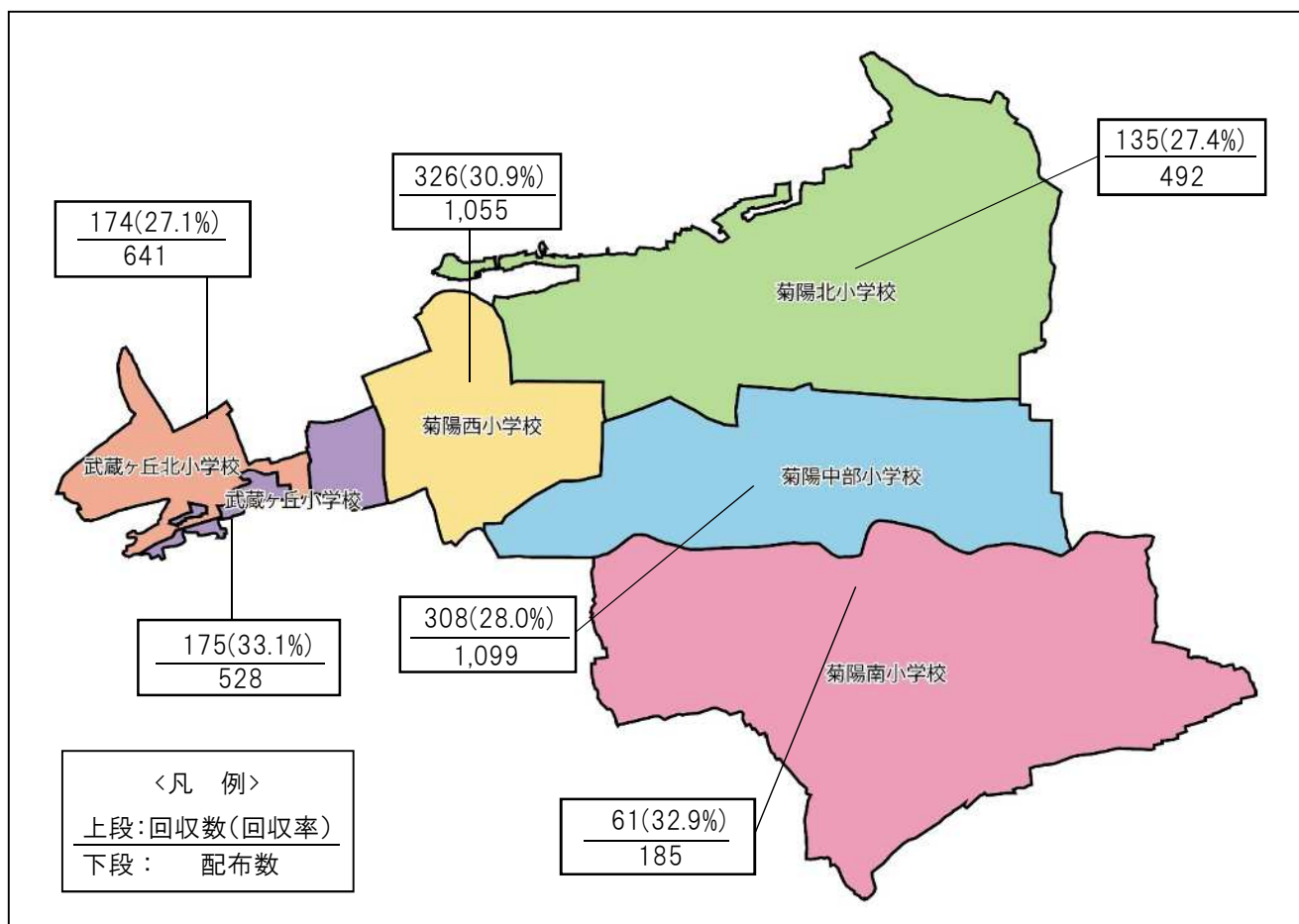
配布数：4,000票（町内18歳以上を無作為抽出）

回答率：1,238票（31%）

※小学校区不明者含む

N：回答対象者数（1,238人）

n：有効回答数



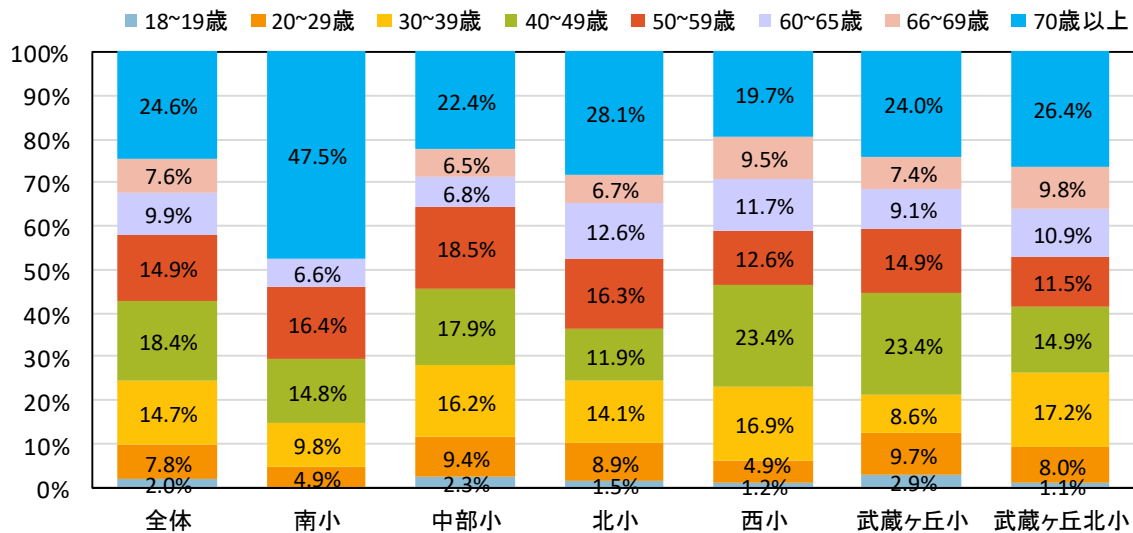
▲ 小学校区別回収状況

4-2 集計結果

(1) 回答者の属性

1) 年齢

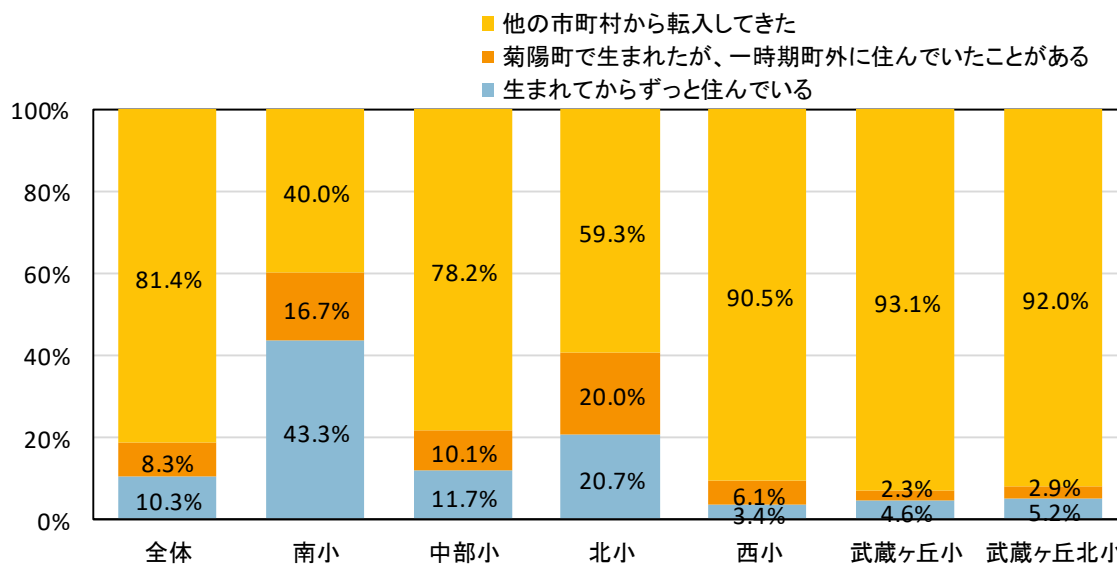
- ・町全体では、70歳以上の回答率が最も高いです。
- ・小学校区別では、西小学校区と武蔵ヶ丘小学校区で40代の回答率が高いです。
- ・いずれの小学校区も50代以上の回答が半数以上を占め、30代以下の回答は3割未満です。



N=1, 238
n=1, 221

2) 居住歴

- ・町全体では、他の市町村から転入してきた割合が高いです。
- ・小学校区別でも概ね同様の傾向ですが、南小学校区は生まれてからずっと住んでいる割合が最も高いです。

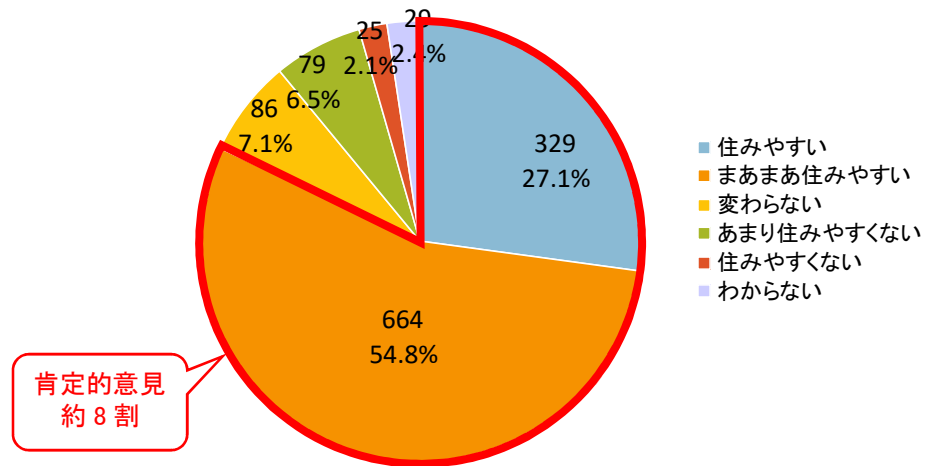


N=1, 238
n=1, 219

(2) これまでの都市づくりに対する評価

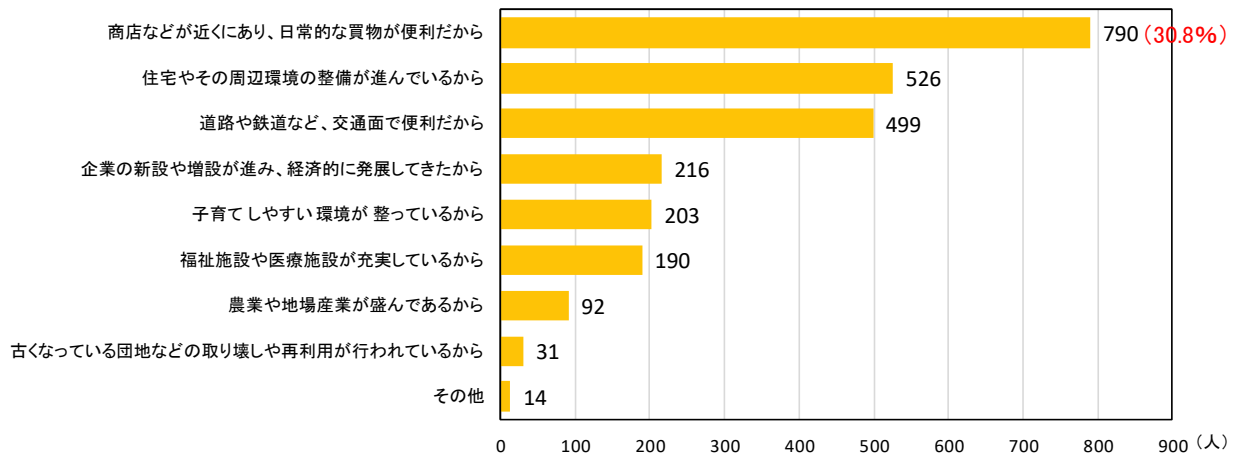
1) 住環境整備について

・町全体では、肯定的な回答が約8割を占めます。
 ・具体的な肯定理由として、「商店などが近くにあり、日常的な買物が便利」の割合が約3割で最も高く、次いで「住宅やその周辺環境の整備が進んでいる」、「道路や鉄道など、交通面で便利」の割合が高いです。



N=1,238
n=1,212

▲ 住環境に関する評価

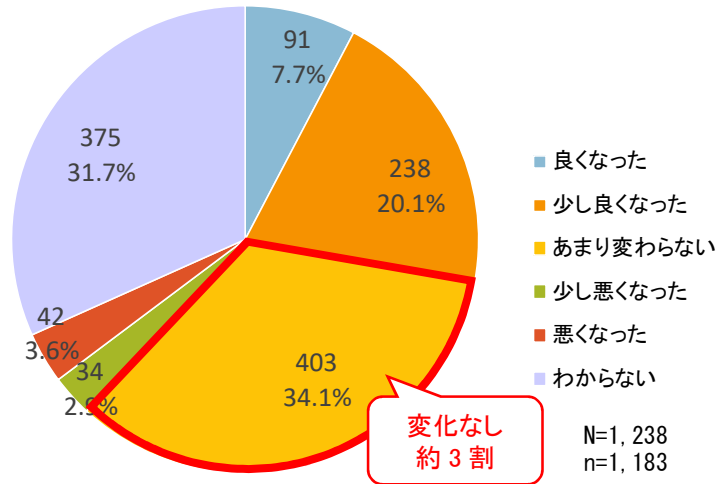


N=993
n=2,561

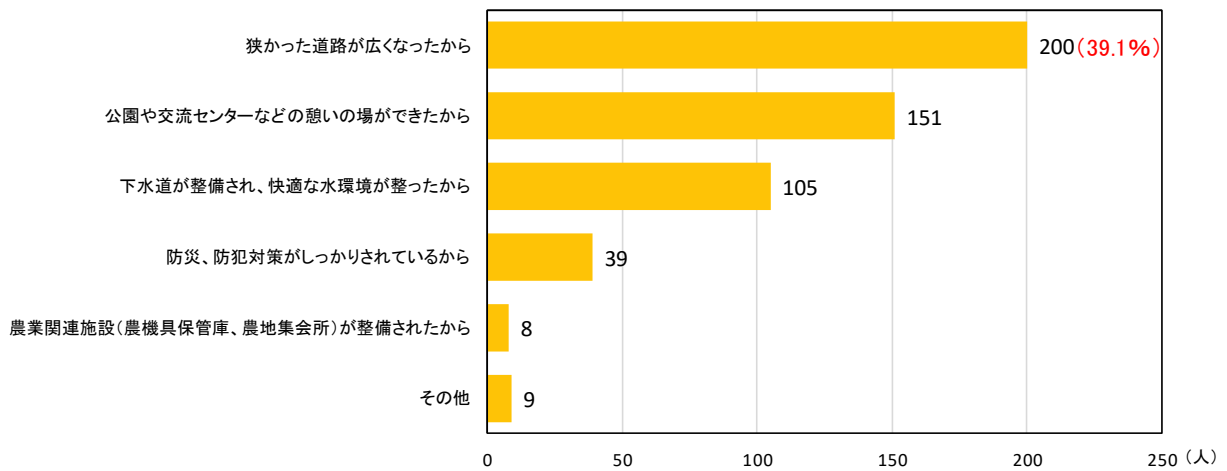
▲ 評価した理由

2) 市街化調整区域の地域活性化について

- ・町全体では、「あまり変わらない」の割合が約3割で最も高いです。
- ・具体的な肯定理由として、「狭かった道路が広がった」の割合が約4割で最も高く、次いで「下水道が整備され、快適な水環境が整ったから」、「公園や交流センターなどの憩いの場ができたから」の割合が高いです。



▲ 市街化調整区域に関する評価

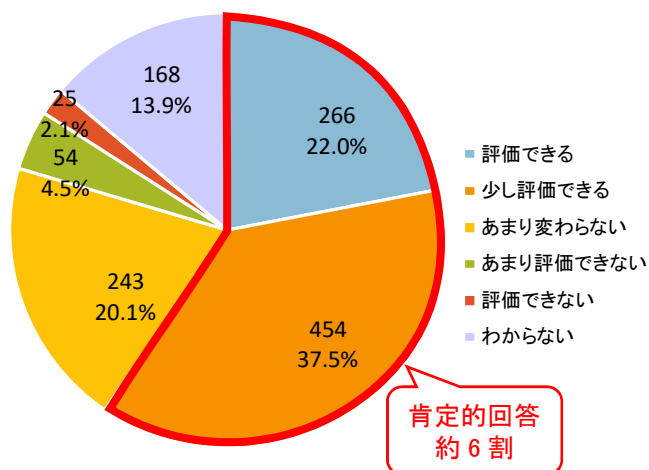


▲ 評価した理由

N=329
n=512

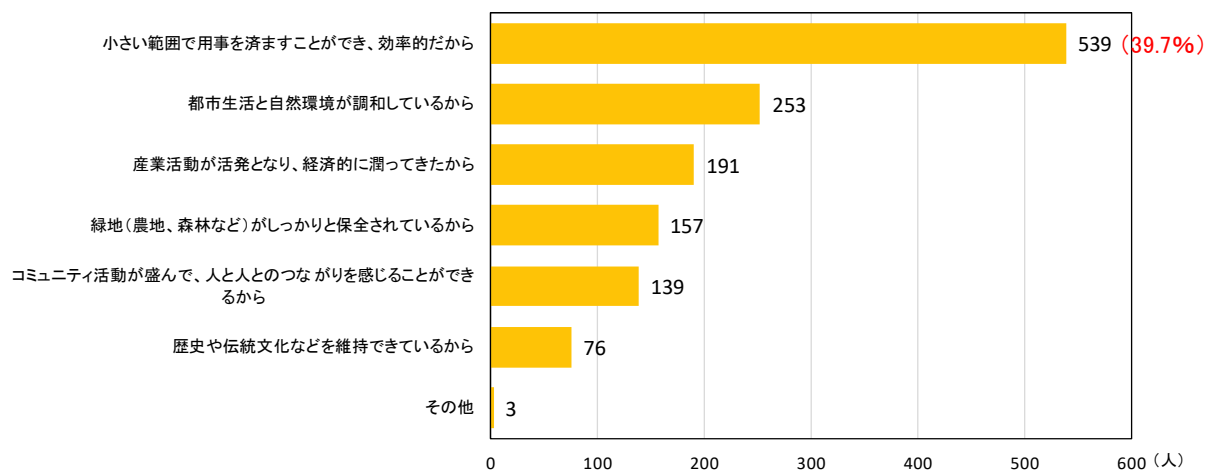
3) 自然環境に配慮したコンパクトな都市づくりについて

- ・町全体では、肯定的な回答が約6割を占めます。
- ・具体的な肯定理由として、「小さい範囲で用事を済ませることができ、効率的だから」の割合が約4割で最も高く、次いで「都市生活と自然環境が調和しているから」、「産業活動が活発となり、経済的に潤ってきたから」の割合が高いです。



▲ コンパクトな都市づくりに関する評価

N=1,238
n=1,210

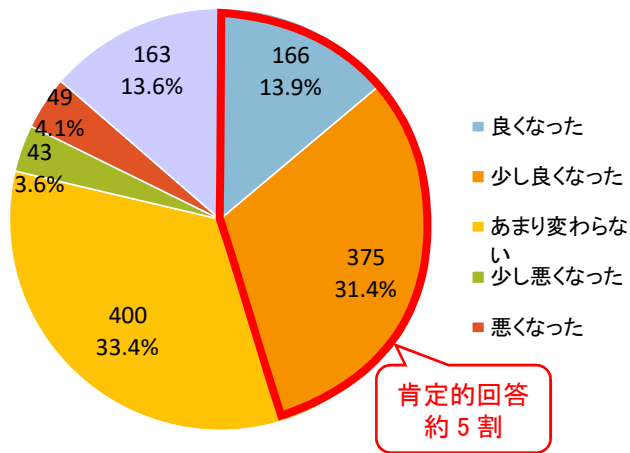


▲ 評価した理由

N=720
n=1,358

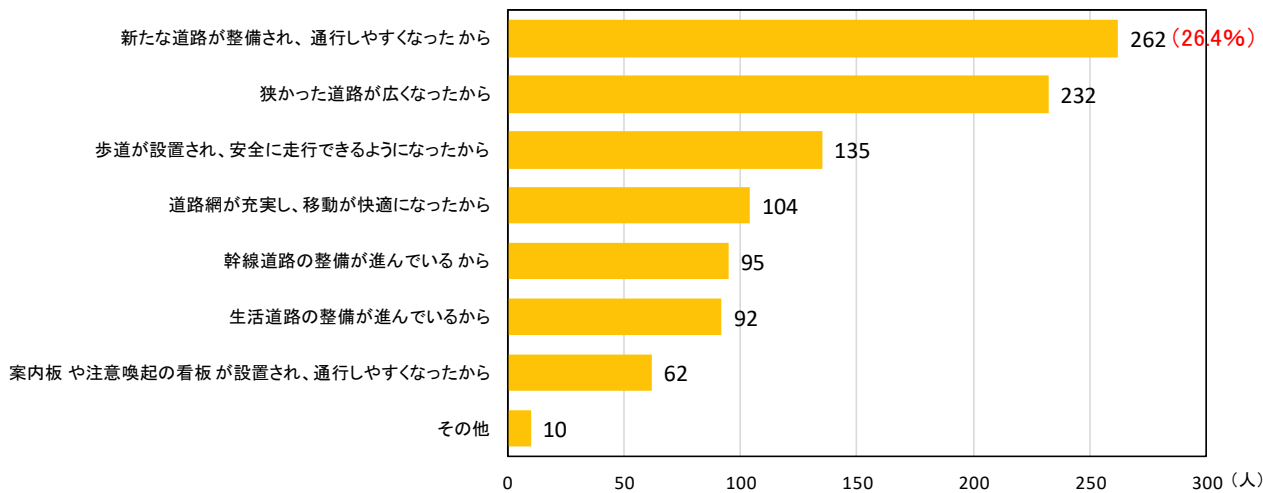
4) 道路の整備状況について

- ・町全体では、肯定的な回答が約5割を占めます。
- ・具体的な肯定理由として、「新たな道路が整備され、通行しやすくなったから」の割合が約3割で最も高く、次いで「狭かった道路が広くなったから」の割合が約2割と高いです。



▲ 道路整備に関する評価

N=1,238
n=1,196

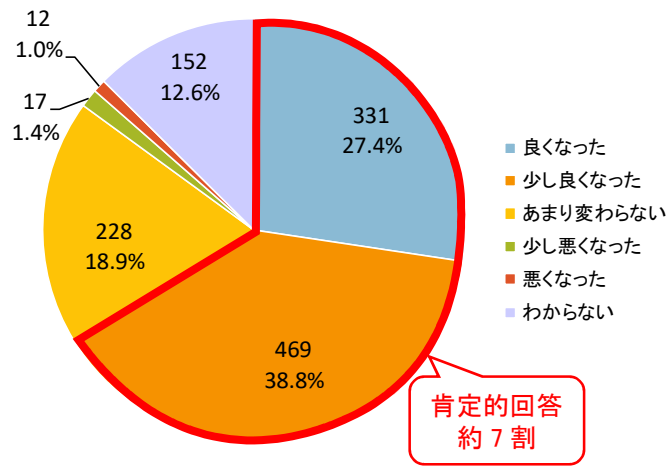


▲ 評価した理由

N=541
n=992

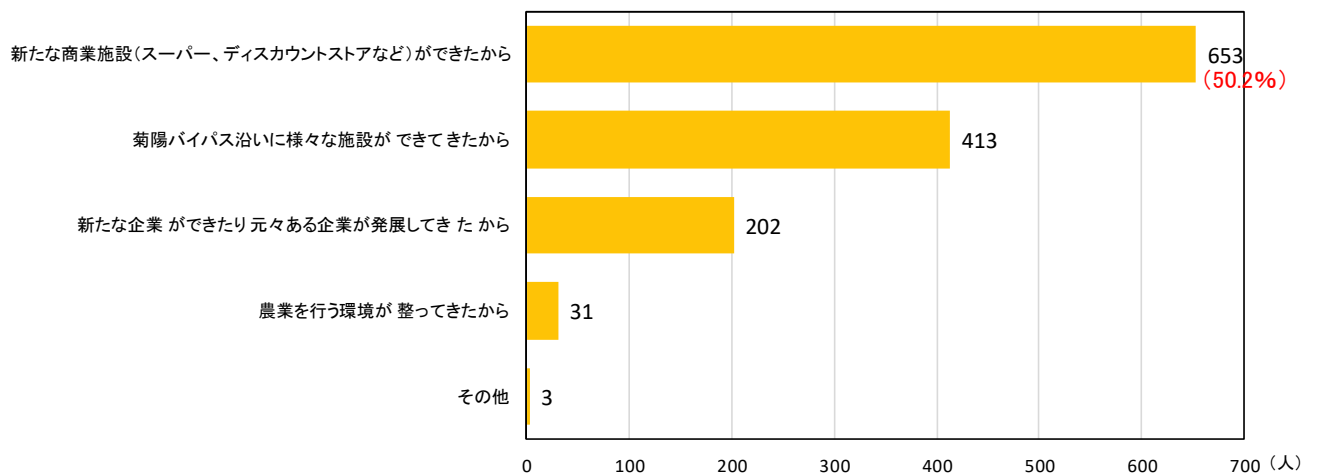
5) 産業の発展状況について

- ・町全体では、肯定的な回答が約7割を占めます。
- ・具体的な肯定理由として、「新たな商業施設ができたから」の割合が約5割で最も高く、次いで「菊陽バイパス沿いに様々な施設ができてきたから」の割合が高いです。



▲ 産業活動に関する評価

N=1,238
n=1,209

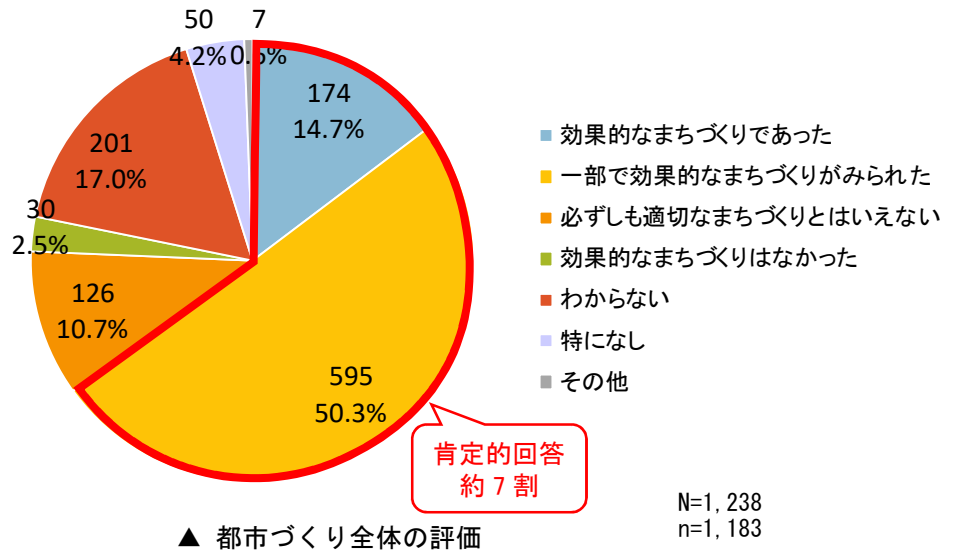


▲ 評価した理由

N=800
n=1,302

6) これまでの都市づくりの全体的な評価について

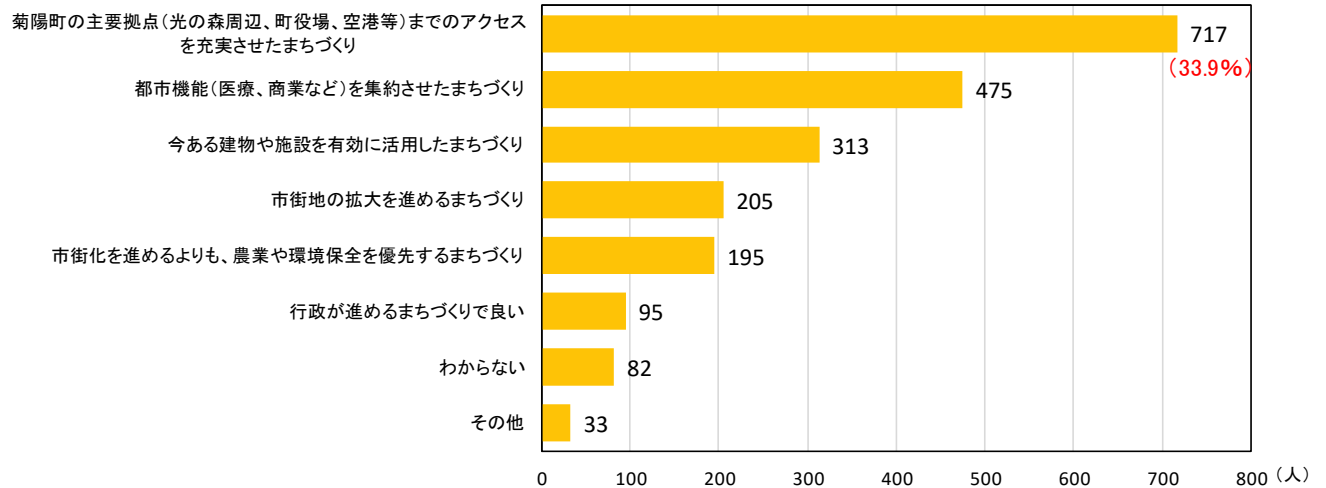
・町全体では、肯定的な回答が約7割を占めます。



(3) これからの都市づくりに望む方向性

1) 望まれるまちの姿について

・「菊陽町の主要拠点までのアクセスを充実させたまちづくり」の割合が約3割で最も高く、次いで「都市機能を集約させたまちづくり」の割合が高いです。

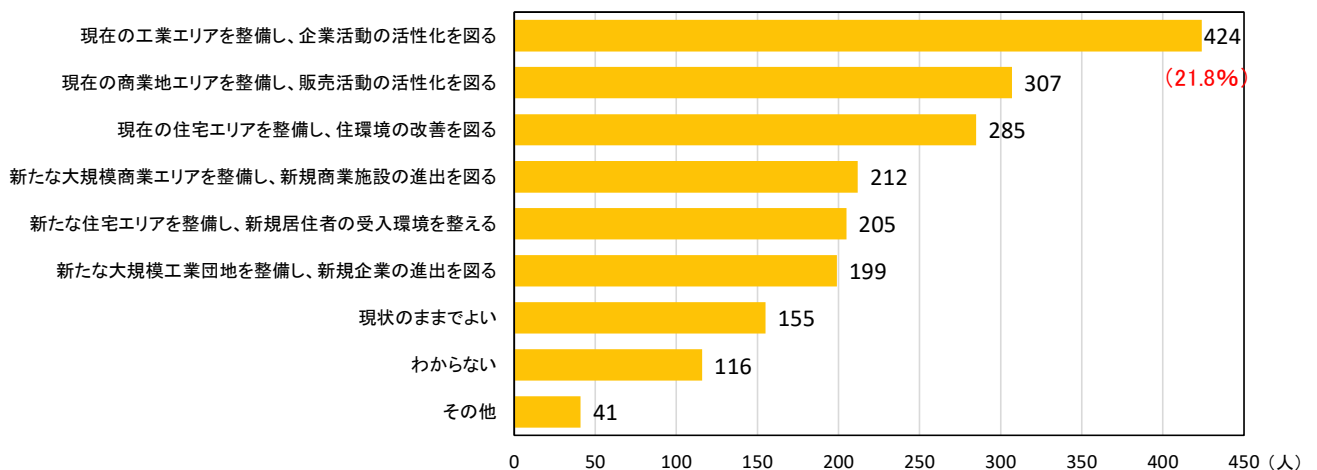


▲ 望まれるまちの姿

N=1,238
n=2,115

2) 望まれる土地利用について

・「現在の工業エリアを整備し、企業活動の活性化を図る」の割合が約2割で最も高く、次いで「現在の商業エリアを整備し、販売活動の活性化を図る」、「現在の住宅エリアを整備し、住環境の改善を図る」の割合が高いです。

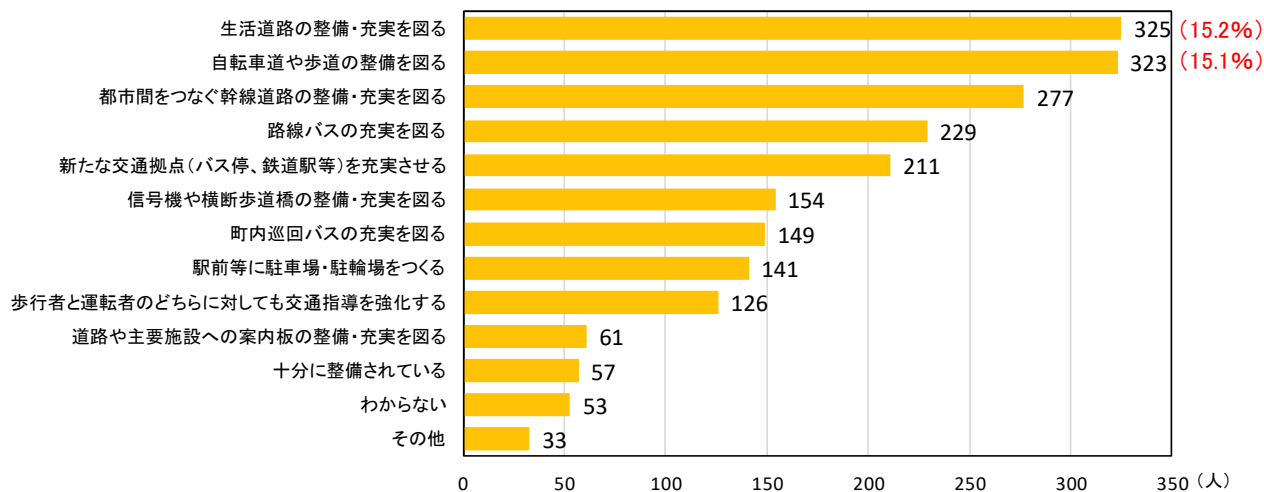


▲ 望まれる土地利用

N=1,238
n=1,944

3) 望まれる交通関連の整備について

・「自転車道や歩道の整備を図る」と「生活道路の整備・充実を図る」の割合がともに上位を占め、次いで「都市間をつなぐ幹線道路の整備・充実を図る」の割合が高いです。

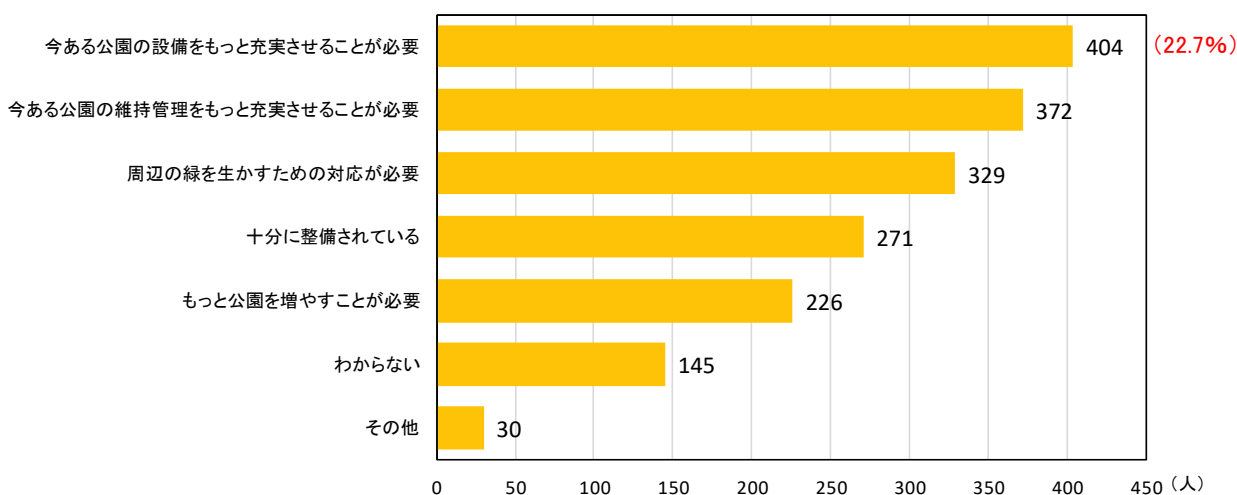


▲ 望まれる交通関連の整備

N=1,238
n=2,139

4) 望まれる公園や緑地の整備について

・「今ある公園の設備をもっと充実させることが必要」の割合が約2割で最も高く、次いで「今ある公園の維持管理をもっと充実させることが必要」、「周辺の緑を生かすための対応が必要」の割合が高いです。

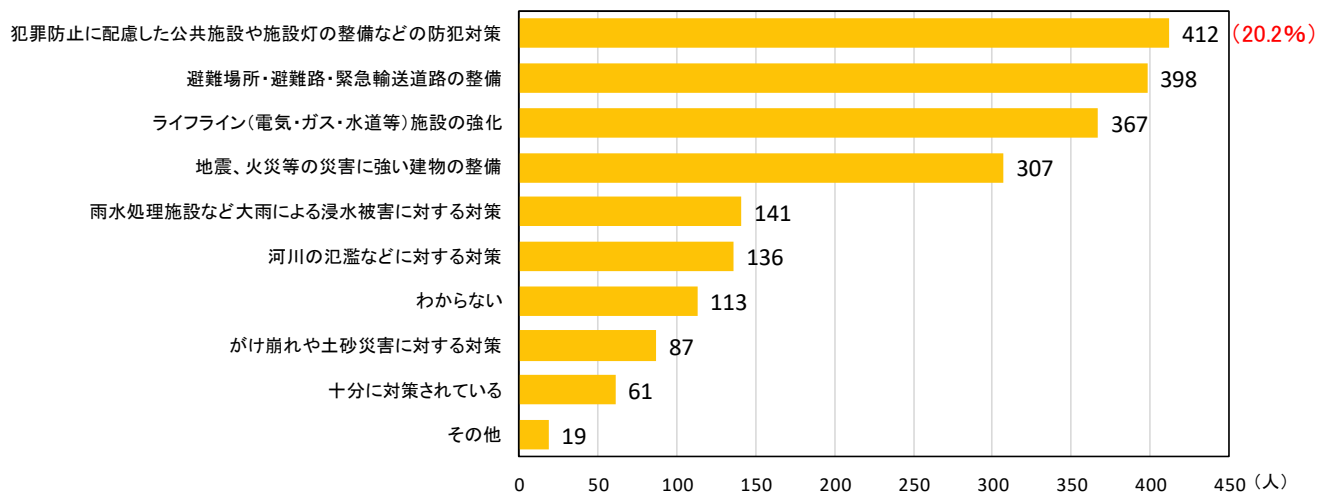


▲ 望まれる公園・緑地の整備

N=1,238
n=1,777

5) 望まれる防災・防犯対策について

・「犯罪防止に配慮した公共施設や施設灯の整備などの防犯対策」の割合が約2割で最も高く、次いで「避難場所・避難路・緊急輸送道路の整備」、「ライフライン（電気・ガス・水道など）施設の強化」の割合が高いです。



▲ 望まれる防災・防犯対策

N=1,238
n=2,041